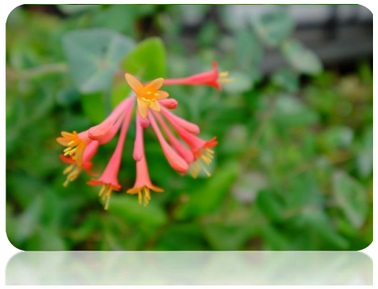
提言３．次世代人材の育成

（２）年間で決まっている活動をしていくだけでは、そこに自主性はない。多くの人の意見を取り入れ、その時、その場に応じた臨機応変な布教活動を展開していく。

（３）現在、行っている活動が《誰が誰のため》、あるいは《誰が何のために》しているのかということを明確にしていく。そのために、まずお役をしている側がそのことの自覚をしっかりと持っていく。

（１）まず教会を知ってもらうことが大切。例えば、未会員を含めたお朔日参りの「姓名鑑定」や「方位鑑定」などをＰＲし、強化していく。また、「無料 お試し入会 実施中」といったことも多くの人に知ってもらう努力、工夫をしていく。



次世代人材の育成

（４）リーダーの資質の向上が大切である。積極的で、前向きで、自信があるリーダーを育成していく。リーダー育成のポイントとして以下の点が考えられる。

・行事のみで終わらせるのではなく、必ず育成につなげていく。
・三者一体の活動をなるべく多くもっていく。
・主任の忙しさを軽減し、より布教に歩けるようにする。
・主任が組長、班長と共に行動するように心がけていく。

（６）法座の在り方や個人指導の在り方など、教会の幹部の意識改革を行なっていく。

（５）サークルなどを幅広く作って、新しい青少年や婦人部、壮年、一般の方のより善き“ご縁づくり”をしていく。